

# 1. 市民ワークショップ結果

## 2. WEBアンケート結果

### 1. 市民ワークショップ結果

#### ◆第1回市民ワークショップ

令和2年8月29日（土）10：00～12：00

#### ◆第2回市民ワークショップ

令和2年11月17日（火）18：30～20：30

11月21日（土）10：00～12：00

11月22日（日）10：00～12：00、13：30～15：30

### 2. WEBアンケート結果

実施日：令和2年12月1日～10日

# 1. 市民ワークショップ結果

## ■市民ワークショップの概要

### 目的

地域公共交通計画（交通マスタープラン）の策定にあたり、地域の移動手段に関する問題点や課題等を整理するため、市内在住の15歳以上の市民を対象にワークショップを開催し、公共交通の利用状況や課題等に関する「利用者の視点」を把握。

### ◆第1回市民ワークショップ

- ・ 日 時：令和2年8月29日（土）10：00～12：00
- ・ 参 加 者：11名（一般参加者6名、淑徳大学生徒5名）
- ・ 運営方法：ZoomによるWEB会議システムを活用
- ・ ワークショップの主な内容
  - ①普段の外出と交通手段についての自己紹介
  - ②公共交通とクルマの良い点や問題点、課題について意見交換
  - ③公共交通事業者の現状と利用者ニーズ及び市の取組についての意見交換

# 1. 市民ワークショップ結果

## ■市民ワークショップの概要

### ◆第2回市民ワークショップ

- ・ 日 時 : 令和2年11月17日(火) 18:30~20:30  
11月21日(土) 10:00~12:00  
11月22日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30
- ・ 参加者 : 計17名
- ・ 運営方法 : ZoomによるWEB会議システムを活用
- ・ ワークショップの主な内容
  - ①地域公共交通に関する市民ワークショップについて
  - ②対話1「いろいろな人の公共交通での行動」
  - ③対話2「自分の地区での公共交通で困っていること、便利なところ」
  - ④千葉市の未来の交通に大切にしたいこと

# 1. 市民ワークショップ結果

## ● 交通モードごとの市民意見の整理

|          | 問題点    | 問題意識(対話で明らかとなった点)                                                                                                                |
|----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鉄道・モノレール | 電車遅延   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 一度遅延しだすと、どの程度遅れが増大するかわからない</li><li>● 終バスとの連携が不十分で、バスに間に合うかわからない</li></ul>                |
|          | 駅の混雑   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 通勤時・イベント時に海浜幕張駅が非常に混雑する</li></ul>                                                        |
|          | 乗継環境   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 千葉駅、千葉みなと駅、蘇我駅などの乗継駅で、エレベーターによる上下移動が苦痛(ベビーカー利用時)、エレベーターの場所がわかりにくい</li></ul>              |
|          |        |                                                                                                                                  |
| バス       | わかりにくさ | <ul style="list-style-type: none"><li>● バスのりばが多すぎてよくわからない</li><li>● 乗りたいバスがどれかわからない</li><li>● 異なる事業者間の乗継を行う場合、検索が非常に面倒</li></ul> |
|          | 混雑・遅延  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 終点の手前で降車する場合、車内が混雑していると遅延の原因となり他の方に申し訳ない</li></ul>                                       |
|          | 発着情報   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 乗りたいバスが来る前か発車した後かがわからない</li><li>● バスがあと何分で来るか、駅に着くかわからない</li></ul>                       |
|          | バリアフリー | <ul style="list-style-type: none"><li>● バス停と車両、車両内での段差があり、ベビーカーで移動する場合、バスを利用することが難しい(スロープが便利)</li></ul>                          |
| タクシー     | 乗車場所   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 駅周辺で、ロータリー以外でタクシーがつかまらない</li></ul>                                                       |
|          | 利用環境   | <ul style="list-style-type: none"><li>● 電話やアプリで予約してもなかなか来ない</li></ul>                                                            |

# 1. 市民ワークショップ結果

## （１）普段の外出及び移動手段等について

### ①主な外出手段

- ・通勤、通学の際は主に鉄道を利用。
- ・市外から来る人は、鉄道を利用するが、路線バスはあまり利用しない。
- ・自家用車の利用は、日用品を買う場合や駅から遠い場合に利用。

### ②コロナ禍の状況

- ・外出全般控えるようにしている。
- ・通勤の公共交通利用に変化はない。
- ・大学はオンライン授業のため、鉄道利用が減少。



### <ワークショップで得られたこと、今後の整理など>

- ・コロナ禍に伴い、外出機会が減少している。WEBアンケート結果（P.11～）等を踏まえ実態把握に努める。

# 1. 市民ワークショップ結果

## (2) 公共交通の良い点、問題点等について

### ①公共交通の良い点

#### 【鉄道】

- ・電車の路線はシンプルでわかりやすい。
- ・都心方面の通勤時間帯を除き、千葉市内の電車は空いている。

#### 【モノレール】

- ・災害に強く、安心して乗れて助かる。

#### 【路線バス】

- ・丁寧な運転手が増えていると感じた。（マナーの向上）

#### 【タクシー】

- ・駅でタクシーを待つことなくすぐに乗車できるため便利。



### <ワークショップで得られたこと、今後の整理など>

- ・利用者にとっての良い点を継続して取り組んでいくとともに、各交通モードの特性を踏まえた役割や施策の検討を行い、公共交通の利用促進を図っていく。
- ・一方、自動車の良い点として、好きな時間に移動ができるといった意見もあったことなどから、公共交通との適切な役割分担の整理が必要。

# 1. 市民ワークショップ結果

## (2) 公共交通の良い点、問題点等について

### ②公共交通の問題点

#### 【鉄道】

- ・遅延によりバスに乗れない（乗継ができない）
- ・運行本数が少ない（JR外房線・内房線、京成線）
- ・車内混雑（蘇我駅など）、駅の混雑（海浜幕張駅）

#### 【モノレール】

- ・運賃が高い
- ・乗換えや上下移動が不便（千葉みなと駅）

#### 【路線バス】

- ・路線案内がわかりにくい。路線もわかりにくい。（千葉駅など）
- ・遅延情報やバスの位置情報が分からない。乗継の検索が面倒。
- ・遅延（千城台駅～千葉駅など）、ロータリー混雑（稲毛駅）
- ・コミバスの運行本数が少なく利用しにくい。

#### 【タクシー】

- ・金額が高い
- ・アプリで呼んでも来ない
- ・ロータリー以外の駅周辺でタクシーがつかまらない

### <ワークショップで得られたこと、今後の整理など>

- ・遅延時等について、鉄道と路線バスなど交通モード間の情報提供や連携が必要。
- ・路線バスにおいては、利用者にとってわかりやすい情報の提供が必要。（バス運行情報のオープンデータ化に伴う、出発地から目的地への経路検索や地図によるわかりやすい情報提供など。）

# 1. 市民ワークショップ結果

## (3) 利用者ニーズ及び市の取組に対する意見等について

### ①市民ニーズについて

#### 【公共交通全般】

- ・ MaaS による高齢者の問題の解決、外出のサポート。

#### 【鉄道】

- ・ 鉄道駅のスロープや傾斜の緩い階段が必要。
- ・ 駅のベンチが少ない。

#### 【モノレール】

- ・ 車両が狭く、混雑時に密となり不安。

#### 【路線バス】

- ・ 日中の利用が少ない。事業者の経費改善として車両を小さくするのはどうか。
- ・ バスの運行情報の案内が欲しい。
- ・ 最寄り駅以外への行き先が増えてほしい。
- ・ 乗り換えする場合、電車の同ホーム乗換えのようにスムーズだと良い。

#### 【タクシー】

- ・ 高齢者が使いやすい運賃設定や割引があると良い。

### <ワークショップで得られたこと、今後の整理など>

- ・ バリアフリー等のハード整備とともに、乗継の円滑化や運行情報案内、また MaaS の検討など、公共交通が利用しやすい環境整備が必要。

# 1. 市民ワークショップ結果

## (3) 利用者ニーズ及び市の取組に対する意見等について

### ②市の取組に対する意見

- ・公共交通機関の具体的な実状をもっと市民に周知すべき。(例：1日8便のバスでどのくらい経費が掛かり、どのくらいの利用が必要かなど。)
- ・モノレールのPRをもっと必要。(モノレールとJRの千葉駅改札階を結ぶ連絡通路の整備事業が認知されていなかったためなど。)
- ・シェアサイクルの認知度が少ないためPRをもっと必要。緑区、若葉区でも取り入れてほしい。
- ・郊外部での自動運転の取組について、千葉市が全国をリードする形で進めていただきたい。知名度向上にもつながる。
- ・少子高齢化の進展が早い、タクシー以外の手段があると良い。
- ・免許返納の促進(事故減少)

### <ワークショップで得られたこと、今後の整理など>

- ・公共交通機関の実状等を市民が知らないケースが多いため、もっと市民に周知をし、利用促進を図ることも必要。
- ・高齢化の進展に伴い、のりば案内や発着情報などわかりやすい公共交通や多様な移動手段の検討が必要。
- ・過度に自動車に頼らず公共交通を積極的に利用した生活など、市民の意識醸成を行うことで、免許返納の増加に対応。

# 1. 市民ワークショップ結果（補足）

## ●参加者の感想

### 【気づき】

- ・ワークショップを通じて、公共交通を維持するために、積極的に利用しようという気持ちが持てた。
- ・自身が住んでいる地域以外の状況も聞くことが出来てよかった。良い点をたくさん聞いたので、今後利用したい。

### 【発信する場の重要性】

- ・日ごろ感じている思いを発信することができてよかった。
- ・これからも、いろいろな方の意見を拾い上げてほしい。

## ●千葉市の公共交通の未来について

### 【何でもそろっている強みを活かした移動環境】

- ・鉄道、モノレール、路線バス、コミュニティバス、タクシーと何でも揃っており、子供にとって夢のような地域。
- ・子供の遠足や乗り物を楽しむイベントなど、乗り物を活かした取組み必要。

### 【過度にマイカーに依存しない移動環境】

- ・過度にマイカーに頼らず、色々な選択肢がある都市になってほしい。
- ・外に出かけたくなる、使いたくなる交通機関であってほしい。

### 【全ての方が使いやすい移動環境】

- ・高齢者の増加、免許返納者の増加も踏まえ、高齢者の利用が増加するはず。
- ・子育て世代の使いやすさも含め、情報提供やバリアフリーを充実し、全ての方が使いやすい公共交通であってほしい。

## 2. WEBアンケート結果

### コロナ禍における公共交通の利用状況等

#### ◆WEBアンケート

実施日：令和2年12月1日～10日

回答者：1,075人

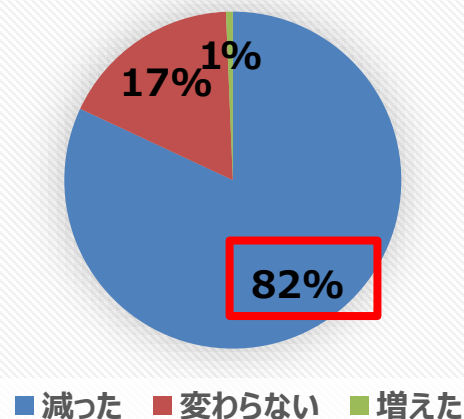
#### 【回答者属性】

性別：男性47.4% 女性47.9% その他・無回答 3.7%

年代：10代 3% 20代 3% 30代 15% 40代 24%  
50代 23% 60代 16% 70代以上 15%

居住区：中央 19% 花見川 15% 稲毛 17%  
若葉 10% 緑 13% 美浜 23% 在勤・在学（市外）4%

外出頻度の変化（対2019年平均）

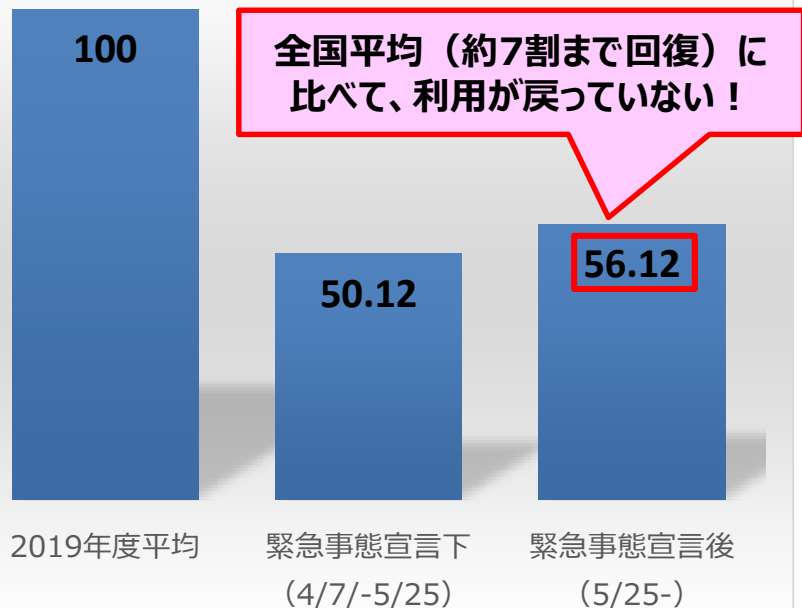


コロナ禍を受けて、外出頻度が  
2019年度平均と比較して「減った」  
と回答した人が約82%

## 2. WEBアンケート結果

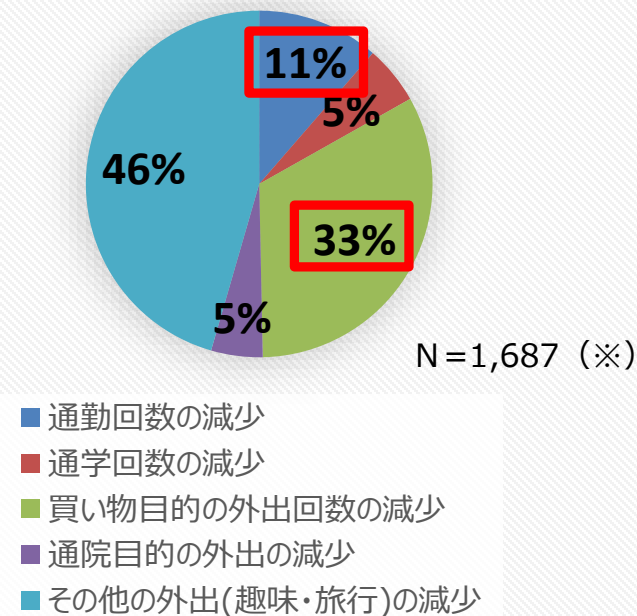
### コロナ禍における公共交通の利用状況等

公共交通の利用頻度



2019年度の平均的な外出頻度を100とする

外出回数が減った理由

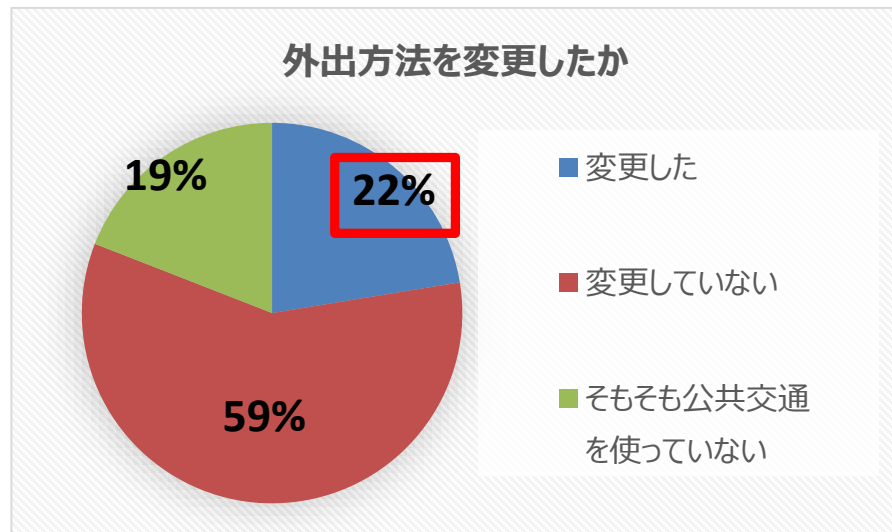


(※) 複数選択可。寄与度を確認する目的でN値を有効回答総数とした。

公共交通を利用した外出回数は2019年度の平均に対して5割台まで落ち込んでおり、緊急事態宣言後の回復も鈍い。通勤回数の減少や買い物目的の外出回数の減少の裏にはテレワークの普及やECの拡大に伴う外出機会の減少が影響していると思われる、今後も過去の水準まで回復する見込みを立てることは困難。

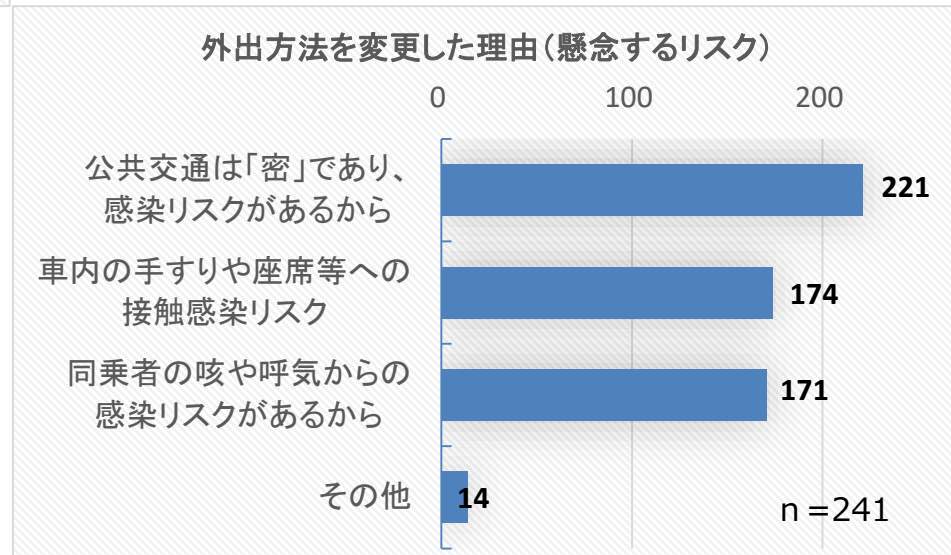
## 2. WEBアンケート結果

### コロナ禍における公共交通の利用状況等



利用を避けた理由として「公共交通は密だから」や「接触感染リスク」、「咳等からの感染リスク」等に加え、「自身が無症状だと媒介する懸念」や「咳マナーが悪い方・都内通勤者への抵抗感」を上げる声もあった。

そもそも普段から公共交通を使用していなかった層（19%）を除き、鉄道・バス・モノレール等を使用していた人が、他者との接触を忌避した結果、マイカーや自転車等に利用へ転換（22%）していることが見て取れる。



※市HPIに詳細を掲載しています。

([https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/r2webannke-to\\_tyousakekka.html](https://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/kohokocho/r2webannke-to_tyousakekka.html))